

## 第108回全国高校野球選手権青森大会

# 佐々木2安打4打点 光星打線をけん引



2季連続の甲子園出場を目指すセンバツ8強の八学光星は、青森工を寄せ付けず6回コールドで勝利。本塁打を含む2安打4打点の佐々木龍馬は「練習から集中力を高めてやってきた成果」と笑みを浮かべた。初回到1点を先制し、三

回は仲里悠の右越えソロ本塁打で加點。しかし、2段モーションから投げ込む青森工の先発右腕の前に、猛攻の足がかりをつかめずいた。この状況を打開したのは佐々木だ。追加点が欲しい四回、2死一塁の場面で打席に立ち、スライダーを捉えると、打球は放物線を描き左翼スタンドへ。この2ランをきっかけに打線に火

が付き、五回到3点、六回にも4点を奪い、一気に試合を決めた。コールドを決定付けるタイムリーを放ったのも佐々木だ。快勝に導いた立役者は「バッティングの調子をキープできている。チームが勝つために、自分ができることを精いっぱいやりたい」と次戦に向け闘志を燃やした。

(小嶋嘉文)



【2回戦・青森工ー八学光星】6回八学光星2死二塁、佐々木龍馬が左前適時打を放ち、11-1のコールド勝ちを決める＝八戸東球場